

宮地プロジェクト-紙漉きの技術の継承と文化的景観の形成を目指す-

磯田節子 建築社会デザイン工学科教授

1. はじめに

本事業は《400年の宮地和紙の伝統を継承する》ことを目的に3か年計画で取り組む。昨年度は宮地和紙の歴史・文化的価値を若い世代を含め広く周知し、地元住民と共有するべく取り組んだ。二年目の今年度は《対外的な観光化》、三年目の来年度は、その受け皿となる《後継者受け入れ》の事業を予定している。

昨年度は、①製作工程の映像コンテンツ作成、②宮地和紙紹介カタログ作成、③崇城大学デザイン学科学生によるポストカード等のデザイン開発、④地元住民とのまち歩きによる魅力発見、⑤活動報告会(展示・講演会)等を行った。本年度はその成果を踏まえ、事業目的を《宮地和紙を活かした観光まちづくり》とし以下の事業をおこなった。宮地は妙見祭や氷室祭に多くの人々が訪れるが、当該事業を展開することで通年型の観光まちづくりが期待できる。

2. 活動内容

八代宮地紙漉きの里を
次世代につなぐ研究会
2016年度
活動の記録

■2016年11月23(木) 妙見祭「宮地和紙に暮らす店」開店

■2016年11月22(水) 御夜アーケードでの宮地和紙販売

■2016年11月14(月) 於旧石村商店店の掃除

■2016年11月7(月) 於宮地公民館
第3回話し合い>参加者8人
①妙見祭御夜・当日宮地和紙販売、旧石村商店での販売・レイアウトについて②宮地周辺まち歩き具体的企画案の検討

■2016年10月31日(月) 宮地周辺まち歩き_テスト歩き_中村会長による>参加者7人

■2016年10月19日(水) 於宮地公民館
第2回話し合い>参加者12人
①妙見祭御夜・当日宮地和紙販売、チラシ、旧石村商店での販売②宮地周辺まち歩き企画について

■2016年10月7日(金) 於厚生会館
ガイド協会の中村会長との話し合い? 宮地ウォーキングについてのアドバイス等_寺嶋・磯田

■2016年9月20日(火) 於妙見町公民館
第1回話し合い>参加者8人
平成58年度の活動企画について検討する

■2016年12月2日 宮地周辺まち歩きのチラシ納品_配布開始

■2016年12月21日(水) 於宮地公民館
第4回話し合い>参加者8人
宮地周辺まち歩きについて

■2017年1月16日(月) 於宮地公民館
第5回話し合い>参加者4人
宮地周辺まち歩きについて

■2017年1月28日(土)
第1回宮地周辺まち歩き
24人参加

■2017年2月10日(月) 於宮地公民館
第6回話し合い>参加者4人
宮地周辺まち歩きについて

■2017年2月18日(土)
第2回宮地周辺まち歩き
25人参加

■2017年3月2日(木) 宮田さん職屋
宮田さん名刺用和紙を漉く

■2017年3月7日(火) 於宮地公民館
第7回話し合い

●2016年度活動目標
宮地和紙を活かした観光まちづくり

●成果

1. 「宮地和紙に暮らす店」の1日開店
2. 宮地和紙を使った新しいデザイン開発と販売
3. 「宮地まち歩き」の開催
4. 宮地和紙紹介ポスタの作成

3. おわりに

本年度は宮地紙漉きの里のまち歩きを2回開催し参加者から好評を得た。「住みたい!と思うほど魅力あるまちでした。同時に勿体ない、PR次第で観光客も呼び込めるのではないのでしょうか」。

■ 崇城大学原田和典研究室のデザイン

富田 寛
宮田ムツ子
矢壁政幸
古川利治(栢木)
古川安子(栢木)
松尾茂幸(八女)
中村重之
角 義雄

山本市子
平野恵子
徳澄幸治
中村富美男
原田和典
澤 治彦
寺嶋 悠

◆ご協力いただいた方々
(敬称略・順不同)

崇城大学芸術学部原田和典研究室
八代市商政観光課
大谷栄樹
市野征治
八代市文化振興課
米崎寿一
熊本高等専門学校
重田侑馬・早野彰人・竹田誠一郎